

## 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

### 中国文学専攻

### 3つのポリシー

#### 【ディプロマ・ポリシー】

中国文学専攻では「中国語学」「中国古典文学」「中国現代文学」を研究教育の三つの柱としており、中国の歴史・哲学・社会・文化などを含めた古代から現代に至るまでの幅広い研究領域を確立している。修士課程においては専門研究深化のための能力の育成、博士課程においては高度な専門性を持った研究者の育成を目指し、それぞれ次のようなポリシーに基づいて研究教育活動を展開している。

中国文学専攻では、課程修了時に学生が以下の3項目の要件に合致し、学則に従った修了要件を充足して、修士論文審査に合格した場合、文学研究科に修士学位の申請を行うことを認める。

1. 自らの選択した中国語学・中国古典文学・中国現代文学の研究領域に関する専門的知識を有することが相当程度認定でき、日本語と中国語を駆使しての専門的な研究活動の展開とその成果の発表が可能と思われる者。
2. 修士論文の研究領域に関して包括的な専門的知識を有し、当該領域の今後の研究に資することが期待される者。
3. 世界に広がる中国語文化圏の歴史的・文化的特性を基本的に理解し、研究活動における豊かなコミュニケーション能力を有すると認められ、研究の進展における分析・調査の能力とそれに裏付けられた問題解決能力および発表能力が認められる者。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

中国文学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成のために、修士課程にそれぞれ次のようなカリキュラムを構築している。

1. 中国語学・中国古典文学・中国現代文学の研究領域に関する専門的知識を総合的に深め、日本語と中国語を駆使して専門的な研究活動を展開させ、またその成果を同じく日本語と中国語で発表できるよう育成するため、中国語学研究 I～IV の4科目、中国文学研究 I～XIV の14科目（古典文学と現代文学の領域を包括）、中日比較文学研究 I・II の2科目を配した。
2. 修士論文執筆の指導のため、指定された指導教員が中心となって個別論文指導を行

い、研究テーマについての知識を深めるとともに、専門的な調査・分析能力および日本語・中国語による論述力を育成する。また専攻全体の修士論文中間報告会等を設定し、複数の教員から多角的な指導を受けられる機会を供与する。

3. 広範な中国語文化圏を視野に、異なった社会体制下に展開する研究領域のリテラシーに習熟するため、文学研究科や国際センターの提供する留学プログラム、学内外の各種留学制度などを活用するよう奨励し、具体的な助言を行って留学を支援する。

### 【アドミッション・ポリシー】

中国文学専攻では、次のような資質と能力を持った学生を求めている。

1. 学部における教育を経て、自身の専門領域についての理解を深め、中国語学・中国古典文学・中国現代文学の領域全般についての基礎的知識を有する者。
2. 大学院修士課程進学後の自身の研究計画について明確な意志と展望を有する者。
3. 上記1および2について、日本語・中国語による理解・表現が可能な者。
4. 修士課程修了後の進路について、積極的な展望を有する者。